



ハーモニー



いざというときの「備え」を！！



能登地方では元日の地震災害に続き、先週の豪雨災害が起こり、大変なことになっています。被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

昔は「災害は忘れたころにやってくる」と言われ、災害は起こらないから大丈夫？！という慢心を戒めていました。しかし、現代は忘れる間もなく大災害が立て続けに起こり、想定を超える被害の大きさに自然の猛威を実感しています。

そこで、先日、南海トラフ大地震が起きたと想定して、津波対応避難訓練を実施しました。今年度は、香川高等学校の生徒さん700名も参加され、総勢1500名を超える人が運動場に避難しました。もし、実際に起きたときには、地域の方々も多く避難してこられるのでさらに混み合うのではないかと予想されます。小学生はもちろん、中学生も



高校生も迅速に整然と避難することができました。その後の低学年引き渡し訓練もスムーズに実施でき、地域の皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

また、先週の金曜日の放課後から土曜日の午前中にかけて、藤山中学校区での『防災キャンプ』を開催しました。小中学生だけでなく、高校生や大学生、藤山地区の自主防災会の皆様、消防団の方々が災害への備えについて、貴重な学びを体験することができました。



いつ、どこで起こるかわからない災害ですが、ご家族がそれぞれどのように避難するのか、どのように連絡を取り合うのか、日頃からしっかり話し合っ

てご準備をしておくとよいですね。

備えあれば、少しは憂いを減らすことができます。いざという時のために備えておきましょう。





10月行事予定



日	曜	学校行事	全校下校	給食
1	火			○
2	水	委員会活動 将棋教室 14:10		○
3	木	就学時健診	13:00	○
4	金			○
5	土			
6	日			
7	月	クラブ活動		○
8	火	5年社会見学 3年アルク見学 9:00～ 2年親子ふれあい活動(3校時 体育館)		○
9	水	宇部市小中学校特別支援教育藤山中学校 区ポッチャ大会 10:00～(藤山中) カルタ教室 14:10～		○
10	木	楽器演奏体験 1・2・3年		○
11	金	6年学力定着状況確認問題		○
12	土			
13	日	藤山ふるさとまつり(3年、5年有志発表)		
14	月	スポーツの日		
15	火			○
16	水	1年親子ふれあい活動(3校時 体育館) 囲碁教室 14:10～		○
17	木	修学旅行(広島) 1/2 5年学力定着状況確認問題 警察・ボランティアによる下校見守り活動		○
18	金	修学旅行(広島) 2/2		○
19	土			
20	日			
21	月			○
22	火	1年人権教室(2校時) 学校運営協議会 18:00～(PC室) 4年親子ふれあい活動 5校時(体育館)		○
23	水	プラタナス教室 14:10 校内授業研究会	6-2 1410 6-2 以外 13:00	○
24	木	スタンプラリー集会(2・3校時)		○
25	金	文化夢教室(日本舞踊) 4年 5・6校時(体育館)		○
26	土			
27	日			
28	月	3年社会見学		○
29	火	1年社会見学		○
30	水	プラタナス教室 14:10～ 職員研修のため 4校時授業	12:30	○
31	木			○

11月の主な行事	
1日(金)	全校朝会 楽器演奏体験 4年・5年
6日(水)	参観日(2校時) 3年親子ふれあい活動(3校時 体育館) 委員会活動 将棋教室 14:10～
13日(水)	カルタ教室 14:10～ 頑張りカード週間(～19日)
14日(木)	宿泊学習(徳地) 6年 薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室 1年歯磨き指導 3校時
15日(金)	宿泊学習(徳地) 特別支援学級演劇教室 13:00～(渡邊翁記念会館)
20日(水)	囲碁教室 14:10～
25日(月)	クラブ活動
27日(水)	持久走大会 プラタナス教室 14:10～
28日(木)	持久走大会予備日
29日(金)	あおぞら号来校

感謝

ありがとうございました！！

今年度、子ども会の保護者が水泳学習時の見守りをしてくださいました。事故防止の点から、より多くの目が必要です。大変助かりました。教職員一同、心から感謝いたします。



ポジティブ行動支援(PBS)とは？

「ポジティブ行動支援」という言葉を聞いたことがありますか？

子どもたちのポジティブな行動(望ましい行動)を「促し」「教え」「価値付ける」といったポジティブな方法で増やそうという考え方です。

本校でも、この考え方の必要性を教職員で共有し、実践するよう努めています。

我々大人でも、課題ばかり突きつけられる職場は苦しく、パフォーマンスも低下します。これは子どもたちも同様です。

つい、課題ばかりに目が行くところを「良さ」に目を向けるよう努める。学校、家庭そして地域がこうした視点で子どもたちを捉え、価値付けることで自己肯定感や有用感を高めていきたいものです。